



上北谷 笑楽好 だより No.7

# チャレンジ通信

令和4年10月3日

～感染予防対策に、引き続きご協力をお願いします～

## 壁画「矢沢幸の詩の絵」について

～148周年・創立記念集会にあたり～

校長 藤ノ木 昌史

上北谷小学校に来ると、まず、体育館外壁に掛けられた壁画に目がいきます。「素敵な壁画だな」と思い、目を凝らすと「ふるさとの詩人 矢沢幸の詩の絵」とタイトルがあり、「なるほど」と思います。しかし、いつ、誰が、どうやって作ったのだろう。大切な学校の宝物ですが、子どもたちも知らないようです。

9月17日は、上北谷小学校の創立記念日です。その日に合わせて例年「創立記念集会」



を行ってきました。今年は、是非壁画の歴史を紐解いて、学校の自慢・誇りを子どもたちの記憶の中に残したいと願いました。

幸いなことに、私のご近所に、以前上北谷小に勤めていられて、「あの壁画を描いたのは私です」と教えてくださった方がいました。佐藤譲介先生です。保護者・ご家族の皆様には、ご存じの方も多くおら

れるのではないのでしょうか。

「壁画を描いた当時のことを子どもたちにお話していただけないのでしょうか。」とお願いしたところ、ご快諾いただき、先日実現しました。

制作したのは、平成9年。今から25年前です。

当時、上北谷小学校はパソコンを活用した学習活動に力を入れ、県内でもトップレベルの実践をしていました。その実践で「ソニー賞」という全国レベルの賞を2年連続して受賞しました。

そのころ、矢沢幸さんの詩が世間で脚光を浴びていました。上北谷小は矢沢幸さんの母校であり、是非、矢沢幸さんのことを教材化して子どもたちと学習したいと考え、パソコンを使って「矢沢幸のマルチメディア詩集を作ろう」という学習に取り組みました。詩の浄書、朗読、絵や歌での表現…、様々な学習活動を矢沢幸さんの詩と関連づけ、その成果を「マルチメディア詩集」にまとめました。

そんな中で、全校での取組として、「体育館の壁に詩の絵を描こう」という話になりました。各学年の子どもたちが1枚ずつ、先生方で3枚、計9枚を分担して描きました。詩を決め、表現する絵の構想を練り、描くときはペンキで一発勝負。緊張しながら一気に描き上げました。

その壁画がかなり評判になり、多くの人が見に来てくれたようです。そして、校舎の改築にあたり、「壊すのはもったいない、残したい」という話になったのだろうと思います。新しい体育館の外壁にきれいに移されて、今に至っています。

先生方が描いた絵は、「少年」「幸」「武器」、詩も書かれているので分かりやすいです。佐藤先生が描かれたのは、「武器」の壁画だそうです。



少年



武器



幸

子どもたちが描いた絵は、小さなサイズで、詩が添えられておらず、どの詩を表現したものだろうと思います。

見せていただいた資料から「1年：あなたの手」「2年：ききょう」「3年：入道雲」「4年：一本のすじ雲」「5年：桐の花」「6年：小道がみえる…」と分かりました。



あなたの手



ききょう



入道雲



一本のすじ雲



桐の花



小道がみえる…

「あの絵は何の詩の絵だろう」と思っていた子も多かったようです。子どもたちから「知ることができてよかったです」という感想を聞きました。

今年は148周年。まもなく150周年を迎えます。長い歴史の中に、様々な取組があり、今の上北谷小学校の伝統・文化が創られてきたのです。そのことを思い、素晴らしい伝統と文化を引き継ぎ、発展させようという意欲をいっそう高めてほしいと願います。

## 9月後半の行事アルバム



9月14日(水) 親善体育大会



9月27日(火) 創立記念集会



9月28日(水) 校内持久走大会

